

活動名 冒険遊び場 in ひろせふれあいの丘	団体名	ひろせ冒険遊び場運営委員会
	地域	広島県福山市
	代表者	会長 橘高 昇吾
	支援金額	20万円

活動概要

「危険」「汚い」などの理由で親たちから制限されているような、工作道具や材料・火・水などを思う存分使える「遊び場」を豊かな自然環境の中に用意する。この「遊び場」では大人は見守るだけで、口出し・手出しは極力行わない。こうした大人の干渉をできるだけ排除し子どもたちの好奇心・冒険心のままに遊べる環境を作り出すことで、想像力や自主性・協調性を育めるような活動を行っています。

◆実施時期
2012年4月～2013年3月まで合計12回開催
広瀬ふれあいの丘 広島県福山市加茂町北山

◆参加人数
大人・大学生 203名
小・中・幼児 253名

参加総人員:455名
(この他にも無記名の参加者あり)



ひたすら水遊びをする黄色い子・地面で調理！



左・大人が登ると子供も木登り
右・3段ベッドだそうです



ドラム缶風呂に入る子に水をかけて喜ぶ子たち



まあスイッチが入れば
あとはほっといてもいろんな遊びをしますね

◆実施に伴う効果

- ・福山市内のもう1つの遊び場と岡山県の遊び場との交流協力活動が盛んになった。
(例) 学生ボランティア、他の遊び場のスタッフが手伝い(遊び?)に来てくれた。
- ・過疎の当地域では子どもが寄って遊ぶことが難かしいが、その機会を作ることができた。
- ・公園と違い知らない家族同士でも気軽に声をかけ合ったり、遊んだりできる不思議な雰囲気が出た。
- ・市街地への出張開催の声がかかった(進行中)

助成によって変わった事

- ・遊び場の小屋裏の狭まっていた空間が大きく広がった。
- ・土が出てきたことにより泥あそびもやりやすくなった。
- ・雨が降ったときにも入れる場所がふえた。
- ・今まで到底できないと思っていた大がかりな工事をする事になり、色々な人に話をする中で、全然知らなかった人たちが声をかけてくれたり、協力して下さったため、予定に無かった工事まですることができた。

無料でできたもの

- ・重機レンタル代 (地域の人が無償で貸して下さった)
- ・重機移動代 (地域の人がツテを使って無料で専門の業者さんがして下さいました)
- ・重機操縦者人件費(私有地の場合免許がいらないことを聞き、プロの人から手ほどきを受けて自分たちで行った)

浮いたお金で以前から懸案だった小屋の中に置いてある木材を子供たちの目に触れる場所に移すため、屋根の延長工事を子供たちに見えるところで自分たちの手作業で行いました。

これからは子供たちも建築あそびができるように廃材をたくさん集めて来る予定です。

◆苦労した点

11月に冒険遊び場全国一斉開催のキャンペーンがありました。
その際、福山市庁舎にポスターを貼らせてもらおうと頼みに行ったところ、5~6課をたらい回しの果てに
「市の後援がないと掲示できません。」
と言われ断られてしまいました。

同じポスターでも庁舎の1回ロビーで写真展示させてもらった遊び場もあったので、まだまだこれからの広報活動が必要と感じました。

ただし、次回は貼らせてもらいます。

◆今後の課題・発展の方向性

現在は都市部から離れたところでの開催のため利用している年齢が親と同行する子ども(赤ちゃん~小学校4年生ぐらい)だけなのでもっと幅の広い年齢の子どもたちが遊べるように街の空き地や公園での出張開催を計画中です。(空き地は3/28申し出がありました!)

◆活動を終えての感想・意見等

助成をいただいたことで活動の幅が広がりました。
幅が広がったことで多くの出会いがありました。
出会った人たちから思ってもみなかったような様々な協力がもらえ、
「やってよかった。」
「これからもがんばろう。」
そういう気持ちをみんなで共有することができました。

本当にありがとうございました。m(__)m